超高速無線用テラヘルツIC技術

- 未開の電波利用による世界最速無線の実現 -



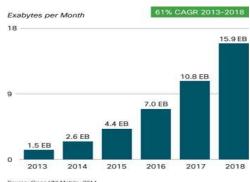
Motivation どんな問題に取り組むのか?

Originality and Impact 新規性とインパクトは?

提供されたコンテンツを消費していた時代から、撮影した写真やビデオク リップをスマートフォンを通じてインターネットで共有するような、人々が自 らデータを生成し、データの流通から分配に主要な役割を果たす時代へと 変化している。このため、モバイル機器からのデータトラフィックが爆発的 に増加しているが、現状のワイヤレス伝送の速度は不十分である。

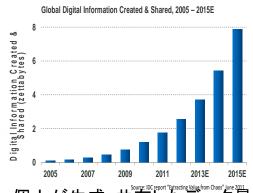
産業的に未利用であるテラヘルツ波帯は、高速通信でもっとも重要な、 超広帯域性を有している。テラヘルツ波帯の電磁波による高速ワイヤレ ス伝送に注目し、パーソナルデバイス間での大容量データの瞬間転送、 ワイヤレスアクセスネットワークにおける超高速伝送路の実現を目指す。

有線から無線へ

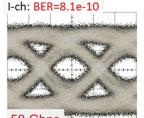


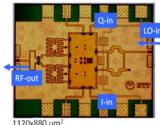
<モバイルトラフィック>

個々人の取扱いデータの急増



▽個人が生成・共有したデータ量>

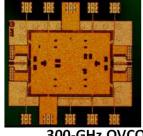


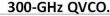


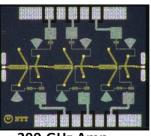
50 Gbps

Q-ch: BER=6.4e-8

300-GHz QPSK ICs







300-GHz Amp

Network/interent area

Superhighway in wireless access network beyond 5G



Personnel area

Instant data up/downloading between personal IT devices

NTT先端集積デバイス研究所

ソン ホジン (song.hojin@lab.ntt.co.jp) 矢板 信 (yaita.makoto@lab.ntt.co.jp)

